



高精度・高品質のものづくりを支える

平成19年度後期 高度熟練技能者179名を認定

高度熟練技能者とは、長年の経験とその中で工夫を重ねることで、機械では代替できない高度な技能を駆使して、高精度・高品質の製品を作り出すことができる技能者、または、機械と同等以上の高精度・高品質の製品の製造、高精度の整備ができる技能者。中央職業能力開発協会は、平成19年度後期、7業種15職種について179名を認定。平成10年度からの延べ認定者は4,804名。各業種の認定状況は以下のとおり。

自動車製造関係業種	機械加工職種	28名
"	金型製作職種	16名
"	仕上げ職種	15名
半導体製品製造関係業種	半導体用金型製作職種	3名
民生用電気製品製造関係業種	機械加工職種	13名
"	金型製作職種	10名
"	仕上げ職種	5名
電気機械器具製造関係業種	機械加工職種	11名
"	仕上げ職種	1名
"	溶接職種	3名
一般・精密・電気機械器具整備関係業種	工作機械整備職種	16名
"	生産加工機械整備職種	26名
航空機整備関係業種	機械加工職種	2名
"	表面処理職種	1名
鉄道車両整備関係業種	修繕・改造職種	29名
計		179名

【参考】 <http://www.javada.or.jp/topics/index.html>

担当：JAVADA 技能振興部
山田・加藤
TEL03-5800-3623
FAX03-5800-3921

JAVADAの主な業務紹介

「ものづくり・技能の継承と発展」 「職業能力評価制度・試験の開発と実施」
「国際協力の推進」 「キャリア形成の支援」 「能力開発に役立つ情報の発信」
<http://www.javada.or.jp/>

(当ニュースのご送付先等に変更がある場合は、お手数ですがご連絡頂きますようお願い致します。)